

令和7年度

学校（自己）評価報告書

岩見沢市立志文小学校



|        |                          |     |     |     |      |      |      |       |
|--------|--------------------------|-----|-----|-----|------|------|------|-------|
| 推進校    | 岩見沢市立志文小学校               |     |     |     |      |      |      |       |
| 校長名    | 小 玉 剛                    |     |     |     | 教職員数 | 26 名 |      |       |
| 学年     | 1 年                      | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年  | 6 年  | 特別支援 | 計     |
| 学級数    | 1                        | 1   | 2   | 1   | 1    | 1    | 4    | 11(4) |
| 児童数    | 23                       | 26  | 38  | 29  | 27   | 35   | 7    | 185   |
| 住 所    | 岩見沢市志文町161-1             |     |     |     |      |      |      |       |
| 電 話    | 0126-22-4689             |     |     |     |      |      |      |       |
| F A X  | 0126-22-9884             |     |     |     |      |      |      |       |
| E-mail | shibuns@edu.hamanasu.com |     |     |     |      |      |      |       |

## I 学校の教育目標

### 学 校 教 育 目 標

《考える子ども》広い視野から問題を捉え、意欲を持って問題解決できる子ども  
《がんばる子ども》自己や集団の目標実現のため、強い意志をもって粘り強くやり抜く子ども  
《励まし合う子ども》認め合い、磨き合って、自己や集団を高めていく子ども

## II 中期及び単年度の具体的目標

### 1. 学校教育の基調

VUCA の時代を迎え予測不可能な社会情勢の中で、我が国は、「Society5.0」を提唱し、最先端の科学技術を基盤に社会課題を構築し、世界の持続的発展に貢献すると共に、先端科学技術と社会が調和した「誰一人取り残さない」社会（インクルーシブ社会）を実現することが急務となっている。

このような時代にあって、学校教育には、子どもたちが不確実な変化に主体的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、正確に取り扱い再構成するなどして新たな価値を見いだしていくこと、ICT を駆使するなどして不確実な状況変化の中で協働的に目的を成し遂げることが求められている。

令和3年度から、清園中学校区で南ブロック SMS プロジェクトを立ち上げ、義務教育の9年間をより一層充実させるために、スローガンを「利他共生～foryou,with you～」と掲げ、『15 歳を迎えた清園中学校の生徒の姿を「自分には良いところがある」と力強く言える生徒』をゴールに設定した。3校で児童生徒の自己有用感を高める教育活動を推進するために、小中連携はもちろん小小連携も進めている。

また、「子どもと創る授業づくり」を3校連携のもう一つの柱に据え、教職員が主体的に授業づくりに取り組んできた。強固な地域との結びつきを再構築するためには、清園中学校区学校運営協議会を立ち上げ、令和 5 年度にはウイズコロナの気流にのり、地域とつながる教育活動を再開することができた。Society5.0 時代の要請と社会の信頼に応え、地域と共に未来に向けて充実した学校の教育活動を推し進める。

## 2. 清園中学校区3校連携スローガン

### ◆利他共生—for you , with you—

#### ◆自分で決めた!挑戦できた!と力強く言える学校・子どもに

スローガンに掲げた「利他」とは誰かのために自分を生かすこと、「共生」は共に生きることである。

誰かの役にたった、誰かに喜んでもらえた等、他者との関係の中で育まれる「自己有用感」に着目し芯柱にすえた。他者と協働する教育活動の中で自己有用感を高めることが出来れば、自己肯定感(自尊感情)の獲得につながり、ありのままの自分を受け入れ、未来の可能性を信じ挑戦できる児童生徒を育むことが出来るのではないだろうか。

清園中学校区3校は、仲間との絆を強くし、互いを尊重して認め合い、助け合い、決していじめなどのない居心地の良い学校づくりによって「自己有用感」を高めることを目指します。

## 3. 志文小学校学校教育目標

想像力・協働性に富んだ人間性豊かな子の育成

### 【考える子ども】※自ら【考えることに挑戦する子ども】の育成

- ・基本の大切さを知り、自分の可能性を信じ、主体的に学びに向かい、他者と協働して課題を解決しようとする子ども

### 【がんばる子ども】※自ら【がんばる(続ける)ことに挑戦する子ども】の育成

- ・自己肯定感を高く持ち、健康で基礎的な体力を備え、向上心をもって努力する子ども

### 【励まし合う子ども】※自ら【励まし合うことに挑戦する子ども】の育成

- ・自己有用感を高め、想像力豊かに他人と協働し、自分自身や集団を向上させようとする子ども
- ※自己肯定感~ありのままの自分を肯定的に受け止めることの出来る感情をさす。
- 自己有用感~誰かの役に立っている、貢献している等自分が有用であると思える感情をさす。

## III 各種具体的な計画

### 1. 経営方針

- (1) 支持的・親和的な学級経営を基盤に日常授業で未来につながる資質・能力を育む。
- (2) すべての教育活動で児童一人一人に寄り添った発達支持的な生徒指導を実践する。
- (3) ブロックや分掌、各特別委員会等の活動を充実させ、組織的な学校経営を進める。
- (4) 保護者や地域との連携を大切にし、子どもの姿で説明責任を果たす。

### 2. 学校経営の重点

最上位の目標は「教育は人を育てることを通して未来を創造する営みである」ことをふまえ、「未来の社会でよりよく生きていくための資質・能力を育む」ことである。コロナ禍の社会は、まさしく予測が困難な社会であり、劇的に変化している。変化の渦の中、多様な考え、多様な価値観がぶつかりあう社会情勢の中で、私たち教職員には、「子どもたちがよりよく生きるために必要な力とは何か。」を組織として見出しながら教育活動を行っていくことが求められている。「子どもたちがよりよく生きるために必要な力とは何か」を見出すには、授業観や指導観を日々見つめ直し、日常的に教職員間の関わり、教師と子どもとの関わり、教師と保護者との関わり、教師と地域住民との関わりを丁寧に行いながら、子どもを取り巻く人々が「新しい時代に対応できる力とは何か」を常に問い続けていかなければならない。

志文小学校の強みは、素直で明朗な児童と豊かな地域素材、そして地域人材や保護者にある。各学年30人程度の在籍で1学級と2学級が混在しているものの、工夫することで十分な体験活動や外部の人材を活用した豊かな学びを展開させることができる。地域資源に目を向けると、岩見沢の特産にかかわる場所や協力をしたいという思いを秘めている人々等のリソースにあふれていることがわかる。また、教職員にあっても全校の児童を知り、全教職員で全児童の指導や成長に関わることができる学校規模と言える。一方、個性や考え方を固定化され、自由な発想や新たな挑戦を表明しにくくなると、自己肯定感や自己有用感が低くなる可能性が高くなる。

目の前にいる子どもたちが、未来を豊かにしなやかに生きぬくために、「私たちは、子どもの未来にふれている」ことを胸に学校教育活動を構築し、よりよい社会で幸せになるための教育実践を推進し、全教職員で志文小学校のすべての子どもたちの幸せな未来を目指し協働体制をとって教育活動を実践しなければならない。

## ■重点目標

### 【重点目標1 「子どもが主体的に学ぶ日常授業」への質的改善】

- ・「子どもと創る授業」を基本に「子どもが主体的に学ぶ日常授業」の実践を積み重ね、志文小学校として全教職員が共に目指すという共通の授業観を構築し、授業の質的改善を図る。
- ・主体的な学びを支える発達段階に応じた「学習スキル」「学習ルール」を確実に定着させ、「自立した学習者」を育成する授業に全教職員で取り組む。
- ・一人一台端末の活用推進とよりよく生きるための情報活用能力の育成を図る。
- ・教育課程にSDGsを位置づけ、社会の構成員として自分自身の学びを活かしていく姿勢を育む。
- ・授業時数特例校制度を活用したカリキュラム・マネジメントに基づく特色ある教育の推進

### 【重点目標2 心の教育】一人一人が認められ安心できる教育活動の推進

- ・発達支持的生徒指導を実践し、ピアサポート等の推進により支持的・親和的な学校風土を創り上げる。
- ・「自己有用感を高める教育活動」を展開させる。
- ・SMS3校の児童会・生徒会活動を連携させ、自主的な活動を保障する。
- ・学校行事での児童の意見を反映する取組を増やす。
- ・「考え議論する」道徳授業実践を積み重ねる。

### 【重点目標3 つながりあう教育活動】異校種・地域・家庭との連携の充実

- ・義務教育9年間を見通した計画的・継続的な教育課程の充実を図る。
- ・キャリア教育や防災教育・総合的な学習の時間の9年間を見通したカリキュラムを確立する。
- ・SMS3校の児童会活動と生徒会活動を連動させる。
- ・保護者や外部人材との対話を大切にして、家庭・地域との連携を推進する。
- ・学校運営協議会を活性化し、地域と共に「社会に開かれた教育課程」を実現させる。
- ・地域コーディネーターの配置と活用をする。
- ・地域資源と地域人材の掘り起こしと教育活動への活用をする。

### 【重点目標4 組織的な学校運営の推進】

- ・学校課題の解決に対して、調整会議を中心に校内特別委員会を活用し、多様な課題に対応するために常に複数体制で取組をすすめる。
- ・各種調査等は、RG-PDCA サイクルを組織的に展開する。
- ・校内組織を見直して業務改善に取り組み、子どもと向き合う時間や授業実践の取組の時間確保を図る。
- ・服務規律の徹底と教職員のメンタルヘルスの保持増進に取り組む。

### 3. 具体的施策

#### (1) 新しい時代に対応できる力の育成

##### ①「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業づくり

- ・「自立した学習者」の育成をめざす授業観の統一と実践
- ・発達段階に合わせた「学習ルールの徹底」「学習スキルの向上」
- ・学力の現状分析と数値目標の設定及びその達成に向けた具体策（学びの時間・志文タイム）の活用
- ・授業との連携を図った自主的な家庭学習（けてぶれ学習法）の充実による学習習慣の定着

##### ②自己の成長を実感し、誰もが達成感を持てる授業づくり

- ・子どもが自己肯定感を高め、次の学びへとつなげる体験活動の充実
- ・生徒指導の機能を生かした、自己の変容が実感できる授業づくり
- ・地域全体で子どもの学びを支援する学校・家庭・地域が連携・協働した取組の推進
- ・キャリアパスポートを活用し自己の成長を振り返る活動の充実と地域・保護者との連携

##### ③自ら未来を切り開いていくための力を育てる授業づくり

- ・地域人材を活用し、地域資源を活用した「ふるさと教育」の推進
- ・将来の生き方や望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育の推進
- ・他者意識を育み、考えを伝え合う活動の充実
- ・自らの判断で命を守ることができる力を育成する健康・安全教育の推進

#### (2) 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進

- ・新体力テストによる体力の実態把握と体力向上のための運動の習慣化(1校1実践)
- ・「傾聴・受容・共感」の学校風土の醸成と支持的・親和的で安心できる居場所づくり
- ・教育相談や日常の相談活動を活用した児童、保護者との信頼関係の構築
- ・「考え議論する道徳」の充実
- ・自らの判断で命を守ることができる力を育成する実効性のある安全教育・各種訓練

#### (3) 育ちと学びを支える教育環境の充実

- ・全教職員による全児童の心に寄り添う指導の推進
- ・「岩見沢市いじめ防止基本方針」「志文小学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめ対応の充実
- ・子ども一人一人の能力や可能性を伸ばす特別支援教育の充実
- ・キャリアステージやライフステージに応じた必要な資質・能力の育成をめざした教職員研修の充実

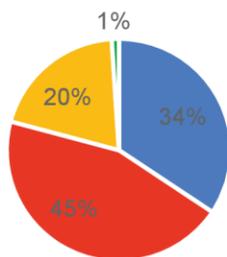
#### (4) 信頼と期待に応える開かれた学校づくり

- ・清園中学校区コミュニティエリア活動の充実（中学校卒業までを見通した教育活動への転換）
- ・保護者や地域住民の思いを活かした教育活動・学校運営の改善・充実
- ・学びの連続性を実現する保・幼・小・中・高・大と連携・協力した教育活動の推進
- ・地域連携への積極的な意識改革（地域とのつながりを重視した授業実践・物的人的素材の活用等）
- ・教育活動へ焦点化するための業務改善（学級事務の軽減の工夫）

## IV 各種評価結果と改善策

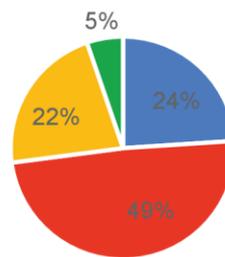
### 学校評価保護者アンケート

1. お子さんは、自分で決めたことに挑戦したり、あきらめずにやり続けたりすることができる。



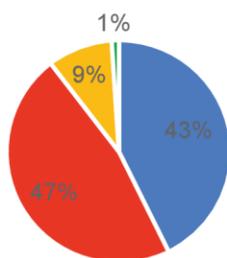
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

2. お子さんは、宿題や家庭学習（けてぶれ学習法やキュービナ）に、進んで取り組んでいる。



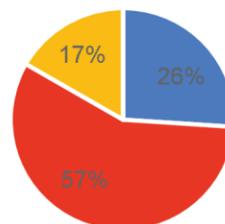
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

3. 先生は、「どのように勉強すればよいか」という学び方を教えてくれる。



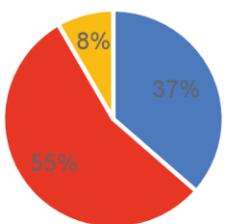
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

4. お子さんは、自分から明るく元気にあいさつしている。



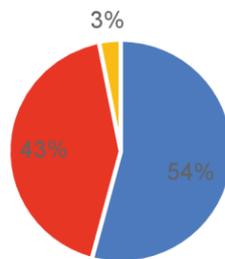
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

5. お子さんは、まわりの友達に優しくし、よい関係をつくっている。



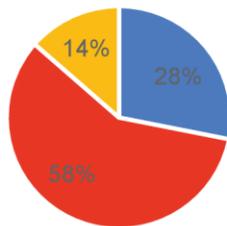
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

6. 先生は、話を聞いてくれたり、困った時には相談にのってくれたりする。



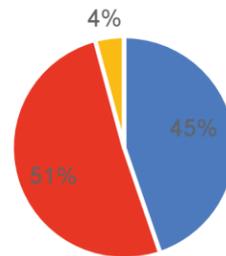
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

7. お子さんは、授業で学習したことを分かっていると思う。



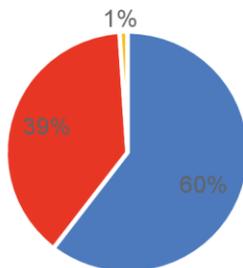
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

8. 先生は、必要なときに、わかりやすく教えてくれている。



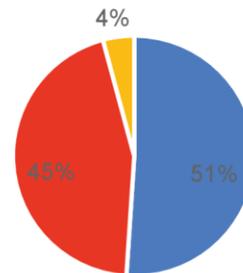
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

9. 学校は、学校便り・通信・tetoru等を通して、教育方針や内容、子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。



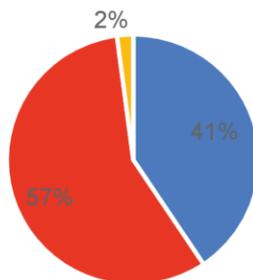
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

10. 学校は、保護者との連携を積極的に行い、保護者からの連絡・相談に対して適切に対応している。



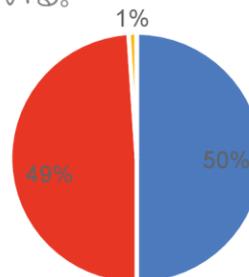
■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

11. 学校は、いじめの未然防止に努め、豊かな心の育成に取り組んでいる。



■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

12. 学校は、子どもの生活・交通・災害に対する安全安心を確保するため、適切な健康・安全教育、対策に取り組んでいる。



■ そう思う ■ まあそう思う  
■ あまり思わない ■ そう思わない

13. 志文小学校の子どもたちの「良いところ」を教えてください。（まとめ）

① とにかく「元気で明るい」子が多い

「元気」「明るい」「元気いっぱい」  
「小学生らしい」「冷めていない」  
「行事を思い切り楽しむ」「一生懸命取り組む」

→ 学校全体に活気があり、雰囲気明るいことがよくわかります。

② 挨拶がしっかりできる

「元気な挨拶」  
「会ったら挨拶してくれる」  
「敬語でしっかり挨拶できる」

→ 礼儀正しく、周囲の大人にも自分から関わられる子が多いという声が圧倒的。

③ 学年をこえて仲が良い（異学年交流）

「縦割りで仲がいい」  
「上の学年が下の学年をよく見てくれる」  
「誰のお母さん？と親にも話しかけてくれる」

→ 学年の壁が低く、自然に助け合ったり遊んだりする文化が定着している。

④ 人懐っこく、優しく思いやりがある

「人懐っこい」「優しい」  
「思いやりがある」「すぐ謝れる」  
「面倒見がいい」「年下に優しい」

→ 相手の気持ちに寄り添える子が多いという印象。

⑤ いじめがなく、平和で安心感がある

「いじめを聞かない」  
「学校を休みがちな子を受け入れてくれた」  
「助けてくれる子がいる」

→ あたたかい関係性の中で、安心して過ごせる環境がうかがえます。

⑥ 一生懸命取り組む姿勢がある

「行事に全力」  
「チャレンジ精神がある」  
「習い事も積極的」

→ 物事に前向きで、のびのびと挑戦する姿が多いようです。

全体としての印象

明るく元気で、挨拶がしっかりできる  
異学年とも自然に関わり、助け合える  
人懐っこく、優しさと思いやりがある  
学校全体があたたかく、安心感のある雰囲気

こうした声が本当に多く、「温かく、活気のある小さなコミュニティ」という様子が窺えます。

#### 14. 志文小学校の子どもたちに「こうなってほしい姿」を教えてください。（まとめ）

##### 1 思いやりや優しさをもつ姿

- 相手の気持ちを理解し、寄り添って行動できる
- 困っている人に自然と手を差し伸べる
- いじめや傷つける行動をしない
- 自分がされて嫌なことは人にしない
- 誰にでも優しく接する
- 相手を煽ったりマウントを取らず、励ましたり応援できる
- 小さい子のお手本となる行動がとれる

##### 2 しっかりとした生活態度・礼儀を身につける姿

- 自分から進んで挨拶ができる
- 公共の場や学校でのルールを守って行動できる
- 人に迷惑をかけない振る舞いができる
- 元氣よく、楽しく、意欲的に学校へ通う

##### 3 学習に向かう姿勢や学力の向上

- 平等に学力をつけ、基礎・基本を確実に身につける
- 家庭学習などにも自分から取り組む
- 遊びも学習も楽しんで取り組める

##### 4 主体性や考える力をもつ姿

- 自分で考え、判断し、行動し、意見を言える
- 良いことと悪いことの区別をしっかりとつける
- 新しいことに挑戦できる
- 目標を見つけ、失敗を生かしながら努力を続けられる
- 自分の好きなことややりたいことを探し、伸ばしていく
- 自己肯定感を高め、自分を大切にできる

##### 5 協力し合い、仲間を大切にする姿

- チームワークを大切にする
- 友達を思いやり、大切に接する
- 仲の良い友達関係を築く
- 助け合いの精神を常にもち続ける

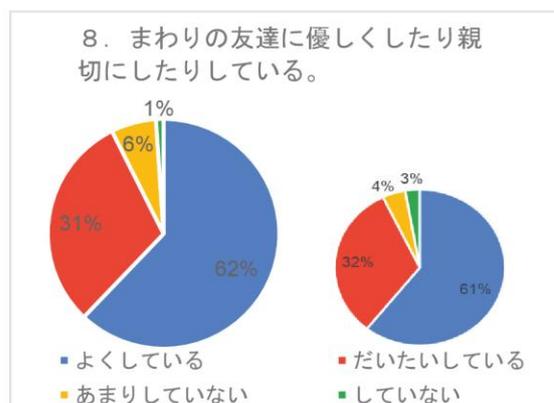
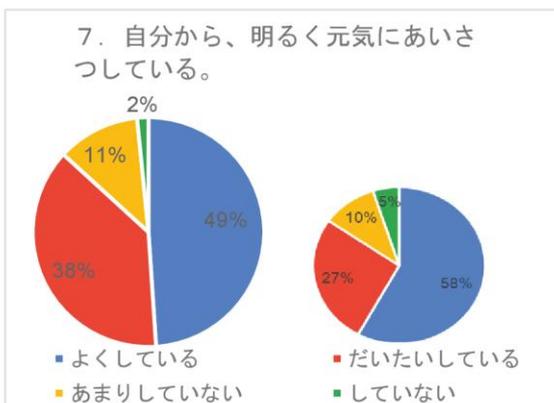
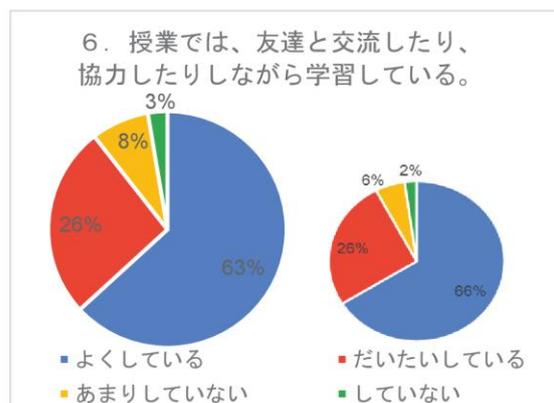
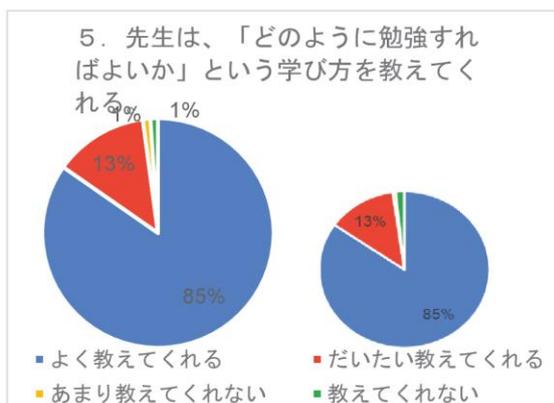
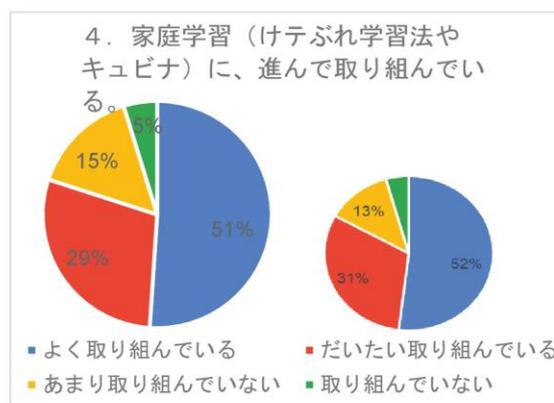
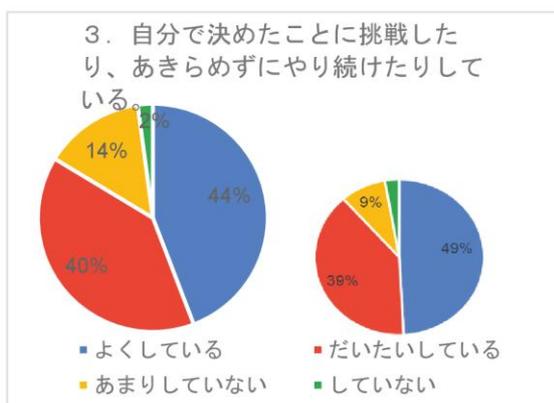
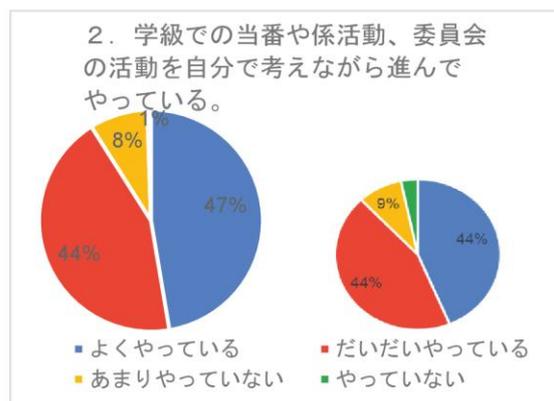
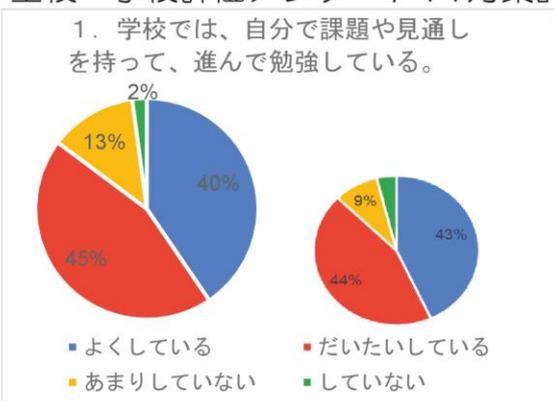
##### 6 素直でまっすぐ成長する姿

- 素直さ、正直さを大切にする
- 子どもらしく、まっすぐ育つ
- 当たり前を当たり前と思わず、家族や周りへの感謝を持つ

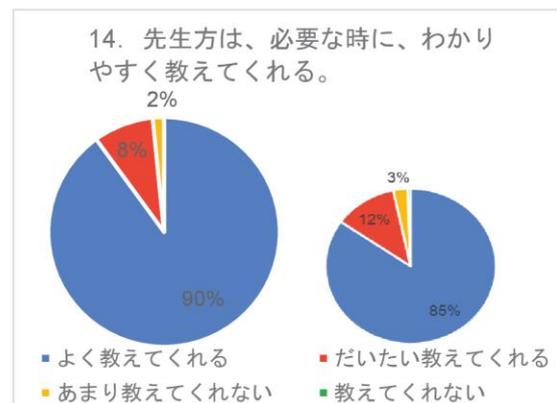
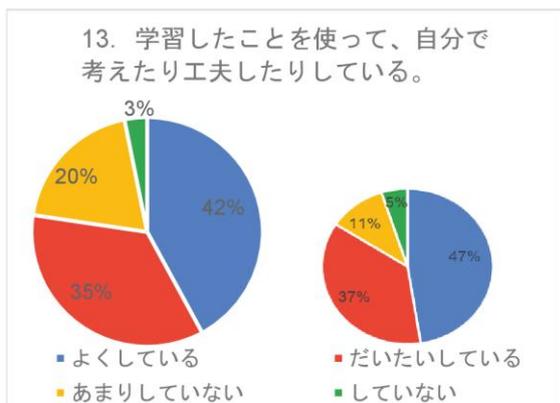
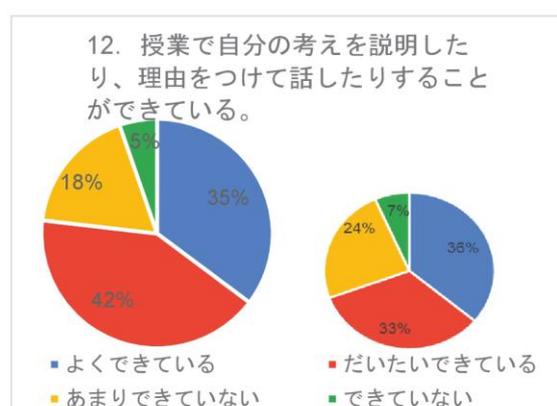
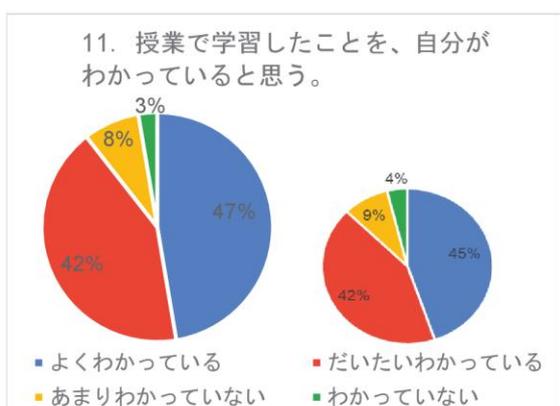
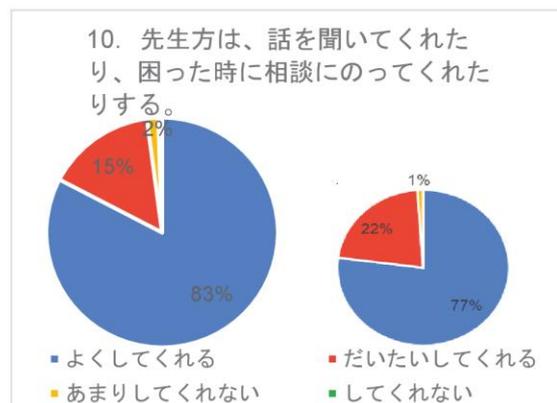
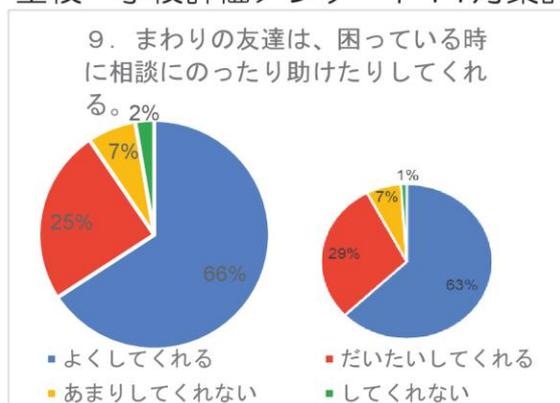
全体を見ると、保護者の願いの中心は「思いやり・優しさ・社会性」を願うお声が多いようです。

その上で、自主性、挑戦する力、正直さ・素直さ、学びへの意欲などの「心の成長」に関する願いが続いています。学力については「学びに取り組む姿勢」を求める方向性が強いという印象でした。

# 全校 学校評価アンケート11月集計ー1



全校 学校評価アンケート11月集計ー2



11月 児童対象学校評価アンケート―1

|  | そう思う | だいたい<br>そう思う | あまりそう<br>思わない | そう思わない |     |
|--|------|--------------|---------------|--------|-----|
| 1. がっこうでは、じぶんからすすんでべんきょうしている。<br>1. 学校では、自分で課題や見通しを持って、進んで勉強している。                  | 全体   | 41%          | 45%           | 13%    | 2%  |
|  | 低学年  | 52%          | 35%           | 8%     | 6%  |
|  | 中学年  | 44%          | 45%           | 11%    | 0%  |
|  | 高学年  | 28%          | 52%           | 18%    | 2%  |
| 2. とうばんやかかりかつどうをすすんでやっている。<br>2. 学級での当番や係活動、委員会の活動を自分で考えながら進んでやっている。               | 全体   | 47%          | 44%           | 8%     | 1%  |
|  | 低学年  | 65%          | 29%           | 4%     | 2%  |
|  | 中学年  | 45%          | 52%           | 3%     | 0%  |
|  | 高学年  | 35%          | 46%           | 18%    | 0%  |
| 3. じぶんできめたことやむずかしいことに、ちようせんしている。<br>3. 自分で決めたことに挑戦したり、あきらめずにやり続けたりしている。            | 全体   | 44%          | 39%           | 14%    | 2%  |
|  | 低学年  | 62%          | 21%           | 13%    | 4%  |
|  | 中学年  | 45%          | 42%           | 12%    | 0%  |
|  | 高学年  | 29%          | 51%           | 17%    | 3%  |
| 4. かていがくしゅうやしゅくだいを、じぶんからすすんでしている。<br>4. 家庭学習(けつぶん学習法やキュピナ)に、進んで取り組んでいる。            | 全体   | 51%          | 29%           | 15%    | 5%  |
|  | 低学年  | 71%          | 19%           | 0%     | 10% |
|  | 中学年  | 52%          | 32%           | 16%    | 0%  |
|  | 高学年  | 34%          | 34%           | 26%    | 6%  |
| 5. せんせいは、まなびかたをおしえてくれる。<br>5. 先生は、「どのように勉強すればよいか」という学び方を教えてくれる。                    | 全体   | 85%          | 13%           | 1%     | 1%  |
|  | 低学年  | 85%          | 10%           | 2%     | 4%  |
|  | 中学年  | 90%          | 10%           | 0%     | 0%  |
|  | 高学年  | 78%          | 20%           | 2%     | 0%  |
| 6. じぶんのかんがえをともだちにつたえたり、きょうりよくしたりして、がくしゅうしている。<br>6. 授業では、友達と交流したり、協力したりしながら学習している。 | 全体   | 63%          | 26%           | 8%     | 3%  |
|  | 低学年  | 62%          | 23%           | 10%    | 6%  |
|  | 中学年  | 63%          | 30%           | 5%     | 1%  |
|  | 高学年  | 65%          | 25%           | 9%     | 2%  |
| 7. じぶんからあかるくげんきにあいさつしている。<br>7. 自分から、明るく元気にあいさつしている。                               | 全体   | 49%          | 38%           | 12%    | 2%  |
|  | 低学年  | 65%          | 23%           | 8%     | 4%  |
|  | 中学年  | 52%          | 42%           | 5%     | 0%  |
|  | 高学年  | 32%          | 45%           | 22%    | 2%  |

総合すると、低学年ほど肯定的回答が多く、高学年になるほど数値が下がる傾向が見られます。また、どの設問の回答割合も、前回の6月実施のときと大きく変わらない結果となっています。

**子どもの傾向 (特徴)**

◆ 1. 低学年は「意欲・協力・生活面」で非常に前向き

多くの項目で60～80%以上が「そう思う」

特に挨拶・友達への優しさ・学習意欲など生活面が良好

教師への信頼感も高い

⇒低学年は『素直・意欲的・行動が安定』という傾向

◆ 2. 中学年は「概ね安定」だが、自立学習に課題が見え始める

生活・対人面は高水準

家庭学習や挑戦に関する項目がやや下がる

⇒徐々に自分で計画して動く力が必要な時期

◆ 3. 高学年は多くの項目で数値が大きく低下  
特に次の項目で顕著に低下：

① 自主学習 (28～35%程度)

② 挑戦する姿勢 (34%)

③ 家庭学習 (34%)

④ 考えを理由をつけて説明 (26%)

⇒思春期の入り口であり、自己肯定感・学習意欲・自己表現が弱まりやすい傾向

◆ 4. 対人関係は全学年で比較的良好  
友達に優しくする (全体 83%)

困っている時に友達が助ける (全体 90%)

11月 児童対象学校評価アンケート—2

|  | そう思う | だいたい<br>そう思う | あまりそう<br>思わない | そう思わない |
|--|------|--------------|---------------|--------|
| 8. ともだちにやさしく、しんせつにしている。<br>8. まわりの友達に優しくしたり親切にしたりしている。                                 | 全体   | 62%          | 31%           | 6%     |
|  | 低学年  | 81%          | 15%           | 2%     |
|  | 中学年  | 66%          | 27%           | 7%     |
|  | 高学年  | 43%          | 46%           | 9%     |
| 9. ともだちは、こまわっているときに、たすけてくれる。<br>9. まわりの友達は、困っている時に相談にのったり助けたりしてくれる。                    | 全体   | 66%          | 25%           | 7%     |
|  | 低学年  | 79%          | 10%           | 6%     |
|  | 中学年  | 70%          | 26%           | 3%     |
| 10. せんせいは、はなしをきいてくれたり、こまわったときにそっだんにのってくれたりする。<br>10. 先生方は、話を聞いてくれたり、困った時に相談にのってくれたりする。 | 高学年  | 51%          | 35%           | 12%    |
|  | 全体   | 83%          | 15%           | 2%     |
|  | 低学年  | 85%          | 12%           | 2%     |
| 11. がっこうで、べんきょうしたことをわかって<br>いる。<br>11. 授業で学習したことを、自分がわかっている<br>と思う。                    | 中学年  | 85%          | 15%           | 0%     |
|  | 高学年  | 78%          | 18%           | 3%     |
|  | 全体   | 47%          | 42%           | 8%     |
| 12. じぶんのかんがえを、あいてにつたわるように<br>はなしている。<br>12. 授業で自分の考えを説明したり、理由をつけて<br>話したりすることができている。   | 低学年  | 62%          | 23%           | 10%    |
|  | 中学年  | 49%          | 45%           | 5%     |
|  | 高学年  | 34%          | 54%           | 9%     |
| 13. べんきょうしたことをつかって、じぶんでかん<br>がえたり、くふうしたりしている。<br>13. 学習したことを使って、自分で考えたり工夫し<br>たりしている。  | 全体   | 35%          | 42%           | 18%    |
|  | 低学年  | 63%          | 25%           | 6%     |
|  | 中学年  | 27%          | 52%           | 19%    |
| 14. せんせいは、たすけてほしいとき、わかるよう<br>におしえてくれる。<br>14. 先生方は、必要な時に、わかりやすく教えてく<br>れる。             | 高学年  | 22%          | 43%           | 26%    |
|  | 全体   | 42%          | 35%           | 19%    |
|  | 低学年  | 62%          | 19%           | 12%    |
|  | 中学年  | 42%          | 42%           | 15%    |
|  | 高学年  | 26%          | 40%           | 31%    |
|  | 全体   | 90%          | 8%            | 2%     |
|  | 低学年  | 88%          | 8%            | 4%     |
|  | 中学年  | 95%          | 5%            | 0%     |
|  | 高学年  | 86%          | 12%           | 2%     |

子どもの課題となること

◆ 1. 高学年の「学習への主体性」の低下  
自分から勉強する：28%

家庭学習：34%  
挑戦する：34%

⇒ やらされ学習になりやすい・成績差を感じて  
消極的になる傾向

◆ 2. 「思考力・表現力」の弱まり（特に高学  
年）

自分の考えを理由とともに説明：26%

工夫して考える：26%

⇒ 「わかっているけど言葉にできない」状態が  
想定される

◆ 3. 中学年・高学年での「学習のつまずきの顕  
在化」

「授業で習ったことをわかっている」…高学年  
34%

(低学年より約30ポイント低い)

⇒ 基礎の理解不足や、授業のスピードについて  
いけない児童が一定数存在

◆ 4. 高学年の「自己肯定感の低下」

挨拶など生活項目は高学年で大きく低下(43%)  
「できないかもしれない」「目立ちたくない」と  
いう心理が背景にある可能性

アンケート全体を総合すると、低学年ほど肯定的回答が多く、高学年になるほど数値が下がる傾向が見られます。また、どの設問の回答割合も、前回の6月実施の時と大きく変わらない結果となっています。(グラフは、左側の大きいものが11月結果、右側の小さいものが6月結果です。)

#### 本校の子どもたちの傾向(特徴)

1. 低学年は「意欲・協力・生活面」で非常に前向き  
多くの項目で60~80%以上が「そう思う」  
特に挨拶・友達への優しさ・学習意欲など生活面が良好  
教師への信頼感も高い  
⇒低学年は『素直・意欲的・行動が安定』という傾向
2. 中学年は「概ね安定」だが、自立学習に課題が見え始める  
生活・対人面は高水準  
家庭学習や挑戦に関する項目がやや下がる  
⇒徐々に自分で計画して動く力が必要な時期
3. 高学年は多くの項目で数値が大きく低下  
特に次の項目で顕著に肯定的回答割合が低下：  
①自主学習(28~35%程度)  
③挑戦する姿勢(34%)  
④家庭学習(34%)  
②考えを理由をつけて説明(26%)  
③自分で工夫(26%)  
⇒思春期の入り口であり、自己肯定感・学習意欲・自己表現が弱まりやすい傾向
4. 対人関係は全学年で比較的良好  
友達に優しくする(全体83%)  
困っている時に友達が助ける(全体90%)  
⇒人間関係は学校全体の強み

#### 本校の子どもの課題となること

1. 高学年の「学習への主体性」の低下  
自分から勉強する：28%  
家庭学習：34%  
挑戦する：34%  
⇒やらされ学習になりやすい・成績差を感じて消極的になる傾向

## 2. 「思考力・表現力」の弱まり（特に高学年）

自分の考えを理由とともに説明：26%

工夫して考える：26%

⇒「わかっているけど言葉にできない」状態が想定される

## 3. 中学年・高学年での「学習のつまずきの顕在化」

「授業で習ったことをわかっている」…高学年 34%

（低学年より約 30 ポイント低い）

⇒基礎の理解不足や、授業のスピードについていけない児童が一定数存在

## 4. 高学年の「自己肯定感の低下」

挨拶など生活項目は高学年で大きく低下（43%）

「できないかもしれない」「目立ちたくない」という心理が背景にある可能性

### 必要と思われる対策

#### 1. 高学年向け：学習意欲・自己肯定感を高める支援

○「小さな成功体験」を積ませる授業づくり

スモールステップ課題

できた部分を具体的に評価するフィードバック

個別最適な学習支援（ICT 活用含む）

○ 思考・表現活動を安心して行える学級づくり

話し合いの型の明確化（主張→理由→結論など）

発言の「正解・不正解」を強調しない文化

互いの意見を受け止めるリフレクション活動

○ 家庭学習の習慣化支援

学習ログの活用

「分量より継続」を重視した家庭学習の提示

保護者への情報共有

#### 2. 中学年向け：自立学習へ移行するための手立て

自分で計画を立てる「学習計画指導」

ふり返り（メタ認知）を重視した学習ノート

グループワークでの役割分担の明確化

3.低学年向け：意欲を伸ばし、良い習慣を定着させる

多めの承認と励まし

生活習慣・あいさつの継続的指導

成功体験の共有会（できたよ発表会等）

4.全学年共通：教師との信頼関係を基盤とした支援

アンケートでは教師への信頼は高い（8～9割）ため、

この「安心できる関係」を基盤に次の指導が効果的：

丁寧な聞き取り

困り感の早期発見

個別に寄り添う伴走支援

まとめ

低学年：意欲高く、生活面も安定

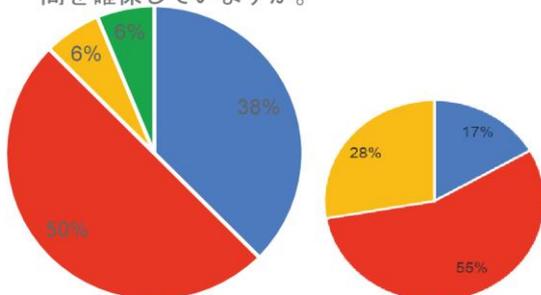
中学年：自立へ向かう途中で戸惑いが出始める

高学年：学習意欲・表現力・自己肯定感の低下が課題

高学年への「主体性支援」「成功体験」「安心して表現できる場づくり」が学校全体として最重要だと言えそうです。

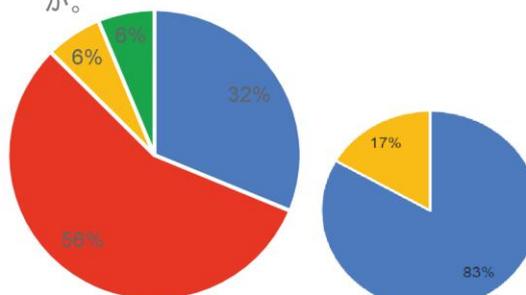
## 教職員 学校評価アンケート11月集計ー1

1. あなたは、児童が自分で課題や見通しを持ち進んで勉強できるよう、授業の冒頭で課題設定や見通しを持たせることを工夫するとともに、自分の力で学ぶ時間を確保していますか。



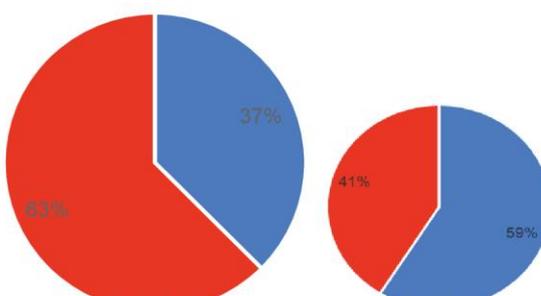
■ よくしている      ■ 大体している  
■ あまりしていない      ■ していない

2. あなたは、児童が学校での様々な活動に自分で考え進んで取り組めるよう、自己決定や挑戦の機会を設定したり、主体的な行動を価値づけたりしていますか。



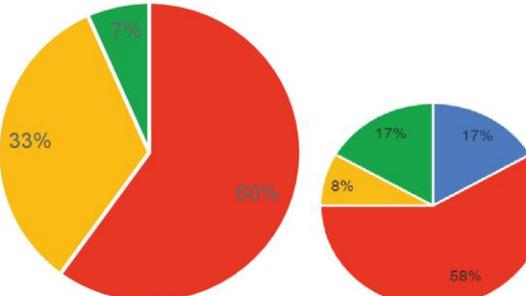
■ よくしている      ■ 大体している  
■ あまりしていない      ■ していない

3. あなたは、児童が自分で決めたことに挑戦したり、あきらめずにやり続けたりすることができるよう、努力の過程を認めたり励ましたりしていますか。



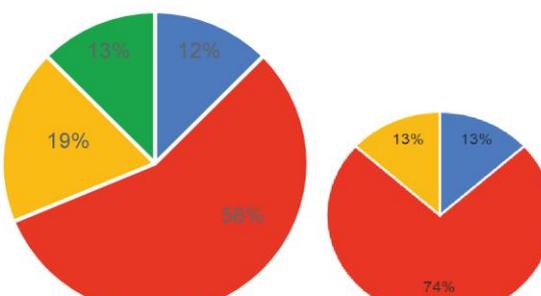
■ よくしている      ■ 大体している  
■ あまりしていない      ■ していない

4. あなたは、児童が家庭学習（けてぶれ学習法やキュービナ）に、進んで取り組めるよう、課題の出し方や取り組みせ方を工夫していますか。



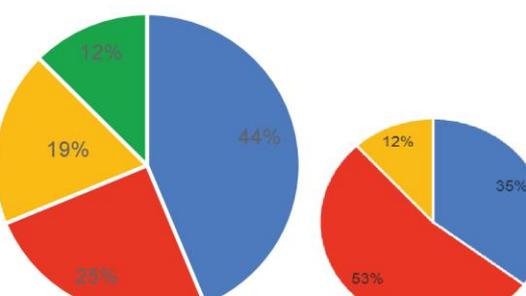
■ よくしている      ■ 大体している  
■ あまりしていない      ■ していない

5. あなたは、児童に「どのように勉強すればよいか」という学び方を教えていますか。



■ よくしている      ■ 大体している  
■ あまりしていない      ■ していない

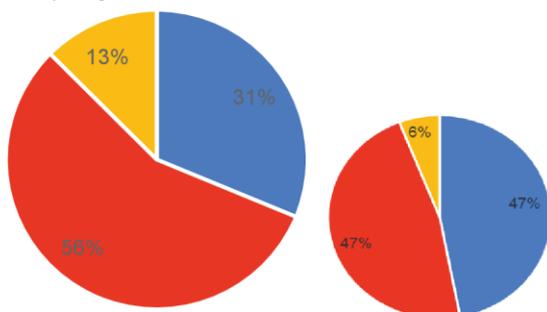
6. あなたは、児童が友達と交流したり、協力したりしながら学習する場面を授業の中で設定していますか。



■ よくしている      ■ 大体している  
■ あまりしていない      ■ していない

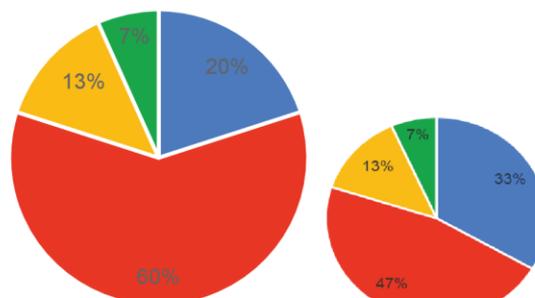
## 教職員 学校評価アンケート11月集計ー2

7. あなたは、児童が自分から、明るく元気にあいさつできるよう、あいさつの意義を考えさせたり指導したりしていますか。



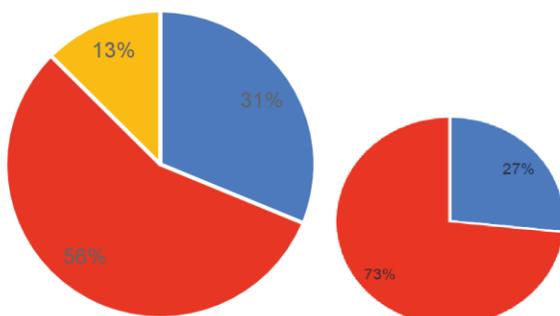
■ よくしている  
■ 大体している  
■ あまりしていない  
■ していない

8. あなたは、児童がまわりの友達に優しくしたり親切にしたりする気持ちが育つよう、岩見沢型ピア・サポートを実践していますか。



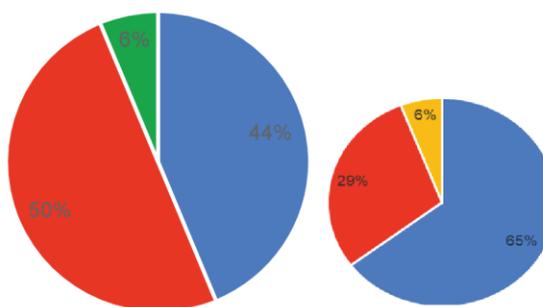
■ よくしている  
■ 大体している  
■ あまりしていない  
■ していない

9. あなたは、児童がまわりの友達に困っている時に相談にのったり助けたりすることができるよう、あたたかな集団づくりに取り組んでいますか。



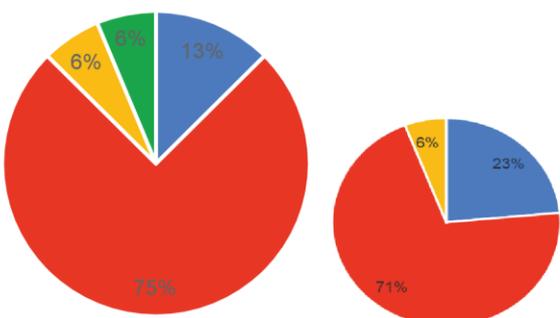
■ よく取り組んでいる  
■ 大体取り組んでいる  
■ あまり取り組んでいない  
■ 取り組んでいない

10. あなたは、児童の話を聞いたり、困った時に相談にのったりしていますか。



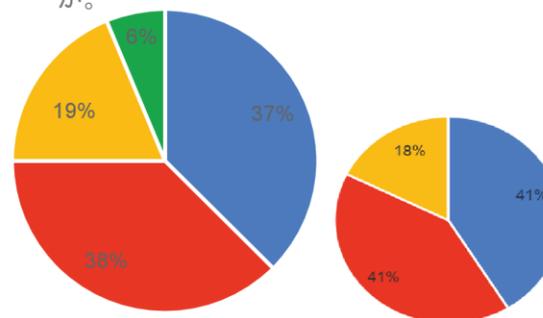
■ よくしている  
■ 大体している  
■ あまりしていない  
■ していない

11. あなたは、児童が授業で学習した内容が確実に定着するよう、指導や評価を工夫していますか。



■ よくしている  
■ 大体している  
■ あまりしていない  
■ していない

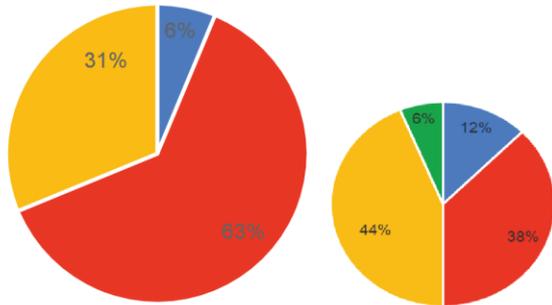
12. あなたは、児童が自分の考えを説明したり、理由をつけて話したりする場面や活動を授業の中に取り入れていますか。



■ よく取り入れている  
■ 大体取り入れている  
■ あまり取り入れていない  
■ 取り入れていない

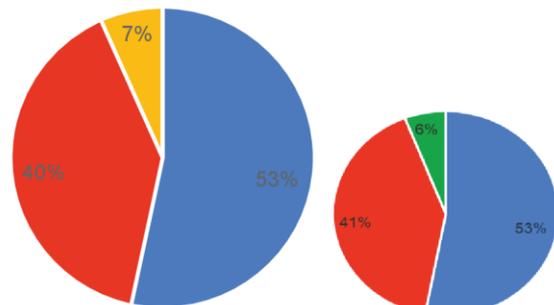
教職員 学校評価アンケート11月集計ー3

13. あなたは、児童が学習したことを使って、自分で考えたり工夫したりする応用・発展・活用問題等に取り組ませていますか。



■ よく取り組ませている ■ 大体取り組ませている  
 ■ あまり取り組ませている ■ 取り組ませている

14. あなたは、児童が必要な時には教える場面を適切に設定し、分かりやすく教えることを大切にしていますか。



■ よくしている ■ 大体している  
 ■ あまりしていない ■ していない

岩見沢市立志文小学校だより NO. 10 《志文小教育目標》

○考える子ども  
○がんばる子ども  
○励まし合う子ども

清園中学校区 連携スローガン  
**利他共生**

自分で決めた！  
挑戦できた！

令和8年1月23日（金）発行



## 「1年間のまとめの3学期」スタート

校長 小玉 剛

3学期が始まり、子ども達の元気な声、明るい笑顔がもどりました。冬休み中、家族とゆつくりと過ごすことで、新しい年の希望をふくらませるとともに、心も体も充電できたことを感じます。ありがとうございました。

2026年はすでに1カ月が過ぎようとしています。多くの子どもたちが新しい年のはじまりに「今年はこれがかんばろう！」と決意したと思います。その目標達成のためには、きつたとくさんの「チャレンジ」が必要です。



特別なことではありません。自然との触れ合いや遊び、当番活動や手伝い、日々の学びの充実であり、素晴らしいことに感動することや不思議さを追求することです。そのような毎日の体験に「チャレンジ」することによって、成長していくものだと思います。インターネット中心の世の中であっても、間接的な体験ではなく、自らの目で見て、肌で感じる実際の体験を重視していきたいものです。

3学期の残りの登校日は、1～5年生で45日、6年生は42日です。一番短い学期ですが、一年間のまとめとして、また次のステップへの準備としてとても大切な学期でもあります。子どもたちの健やかな成長を目指し、全職員が子どもたちのたくさんの「チャレンジ」を応援していきたいと思えます。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。火のエネルギーと午（うま）の情熱が合わさり、大きな飛躍と行動力がテーマの年だといわれています。

子どもたちにとっても元気いっっぱいの活力ある一年となり、いつも笑顔があふれ、地域の皆さんにも元気を伝えられる一年となりますよう、学校の役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。

今年一年も保護者の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**落雪事故・冬型事故の防止!!**  
突然の大雪などの場合でも、大きなけがにつながるようなように、子どもが自分自身で危険を回避できることが一番です。学校でも指導していきます。

- 軒下には近づかない。
- 道路沿いの雪山に登らない。
- 道路に飛び出さない。
- 道路で雪玉を投げない。など




|         |              |
|---------|--------------|
| 4日 (水)  | スキー・3・5年     |
| 5日 (木)  | 児童委員会        |
| 6日 (金)  | 交通安全指導       |
| 11日 (水) | 建国記念の日       |
| 12日 (木) | 第3回学校運営協議会   |
| 13日 (金) | 児童会選挙        |
| 17日 (火) | スキー予備日       |
| 18日 (水) | 家庭学習強調週間～20日 |
| 20日 (金) | 認証式          |
|         | 特別支援学級卒業を祝う会 |
| 25日 (水) | 参観懇談会 (高)    |
| 26日 (木) | 参観懇談会 (低)    |
| 27日 (金) | PTA役員選考会     |



給食費の口座振替

**2月12日 (木)**

(再) 19日 (木)

※引落日に変更がある場合は、ネットでお知らせします。

※給食費 (4000円) と

**スキー学習のバス代・リフト代**もあります。

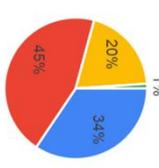
(金額は一人一人違います。後日お知らせいたします。)

## 「学校評価アンケート」のご協力、ありがとうございました!

11月に実施した「学校評価アンケート」につきまして、お忙しい中たくさんのご回答をいただき、ありがとうございました。結果について以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。

(グラフは、■そう思う ■まあそう思う ■あまり思わない ■思わない)

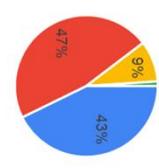
1. お子さんは、自分で決めたことに挑戦したり、あきらめずにやり続けることができます。



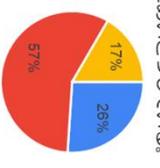
2. お子さんは、宿題や家庭学習(けずりね学習法やキョビナ)に、進んで取り組んでいる。



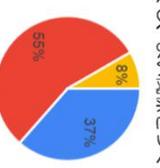
3. 先生は、「どのように勉強すればよいか」という学び方を教えてください。



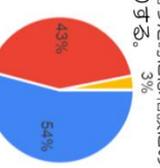
4. お子さんは、自分から明るく元気にあいさつしている。



5. お子さんは、まわりの友達に優しく、よい関係を築くことができる。



6. 先生は、話を聞いてくれたり、困った時には相談ののってくれたりする。

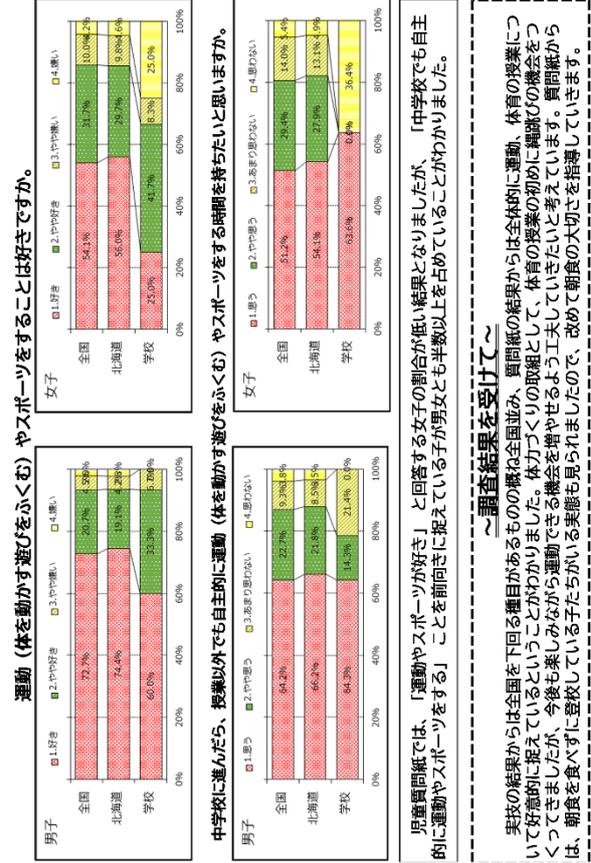


# 令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

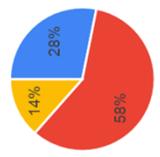
全国の5年生を対象にして実施された「全国体力、運動能力、運動習慣等調査」の結果について、本校の概要をお知らせします。なお、紙面の都合で、特徴的な部分のみのお知らせとなります。ご了承ください。

|           | →全国をやや下回る |           |            | →全国をやや上回る |                |          | →全国を下回る    |              |  |
|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|----------------|----------|------------|--------------|--|
|           | 体力 (kg)   | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横跳び (点) | 20m シャトルラン (回) | 50m走 (秒) | 立ち幅跳び (cm) | ソフトボール投げ (m) |  |
| <b>男子</b> |           |           |            |           |                |          |            |              |  |
| 全国        | 15.96     | 19.46     | 33.88      | 40.89     | 47.94          | 9.46     | 150.93     | 21.06        |  |
| 全道        | 16.76     | 19.33     | 34.37      | 42.49     | 47.16          | 9.67     | 152.02     | 21.85        |  |
| 本校5年生     | 16.73     | 18.53     | 34.60      | 37.80     | 47.07          | 9.91     | 154.33     | 21.87        |  |
| <b>女子</b> |           |           |            |           |                |          |            |              |  |
| 全国        | 15.61     | 18.36     | 38.15      | 38.70     | 36.85          | 9.77     | 142.34     | 13.11        |  |
| 全道        | 16.29     | 18.12     | 38.71      | 40.25     | 36.13          | 9.95     | 144.25     | 14.04        |  |
| 本校5年生     | 16.75     | 16.08     | 36.75      | 34.42     | 35.33          | 10.78    | 136.50     | 14.58        |  |

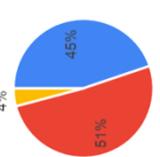
標準偏差を基に算出した数値で比較した場合、色の着いていない数値は「概ね全国平均と同等」という結果でした。「全国をやや上回る」という結果になった種目も一部ありますが、特に女子において全国平均を下回る結果となった種目がいくつも見られます。限られた体育の授業により運動量を増やしたり、体を動かす喜び、上達する楽しさを感じられるよう内容を工夫したりして、子どもたちの運動の習慣に繋がってほしいと思います。



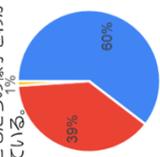
7. お子さんは、授業で学習したことを分かっていると思う。



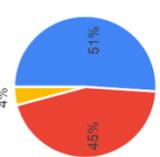
8. 先生は、必要なときに、わかりやすく教えてくれている。



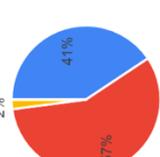
9. 学校は、学校便り・通信・tetori等を通して、教育方針や内容、子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。



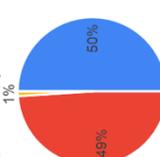
10. 学校は、保護者との連携を積極的に行い、保護者からの連絡・相談に対して適切に対応している。



11. 学校は、いじめの未然防止に努め、豊かな心の育成に取り組んでいる。



12. 学校は、子どもの生活・交通・災害に対する安全安心を確保するため、適切な健康・安全教育、対策に取り組んでいる。



13. 志文小学校の子どもたちの「良いところ」を教えてください。



- とにかく「元気で明るい」子が多い
  - 学校全体に活気があり、雰囲気が良い。
  - 挨拶がしっかりできる
  - 礼儀正しく、周囲の大人にも自分から関わられる子が多い。
  - 学年をこえて仲が良い（異学年交流）
  - 学年の壁が低く、自然に助け合ったり遊んだりする文化がある。
  - 人懐っこく、優しく思いやりがある
  - 相手の気持ちに寄り添える子が多い。
  - いじめがなく、平和で安心感がある
  - 大切な関係性の中で、安心して過ごせる環境がある。
  - 一生涯命取り組む姿勢がある
  - 物事に前向きで、のびのびと挑戦する姿が多い。

14. 志文小学校の子どもたちに「こうなってほしい姿」を教えてください。保護者の皆様のご意見をまとめると以下のようになります。

- 思いやりや優しさをもつ姿
- しつかりとした生活態度・礼儀を身につける姿
- 学習に向かう姿勢や学力を向上させる姿
- 主体性や考えの力をもつ姿
- 協力し合い、仲間を大切に育てる姿
- 素直でまっすぐ成長する姿

いずれも望ましい姿であり、保護者の皆様のご期待に沿えるように日々の教育活動で意識して指導すると共に、来年度の学校経営を考える際の参考とさせていただきます。

※ 15～のご意見への回答は、特別号でお知らせいたします。

岩見沢市立志文小学校だより 特別号 《志文小教育目標》

# やがて

令和8年1月23日(金)発行

〇考える子ども  
〇がんばる子ども  
〇励まし合う子ども

清園中学校区 連携スローガン  
利己他共生  
自分で決めた！  
挑戦できた！

## 学校評価アンケート貴重なご意見ありがとうございました

紙面の都合で全てをご紹介することはできませんが、貴重なご意見や温かいお礼・励ましの言葉をいただき、ありがとうございます。ご意見・ご要望としてお寄せいただいた内容につきましては校内で検討を重ねた結果を記載していきますのでご確認ください。

志文小学校の教育活動をよりよくするためのアイデアがございましたら、お書きください。改善策等と共に、前向きなご意見を頂戴しますと、児童・職員にとって大きな励みとなります。

### <児童の学習に関わって>

- ・わかるまで教えていただける時間や日を設けて欲しい。  
各学年の美観に添って、休み時間や放課後の時間を活用し、学習指導を行っているところで、お子さんの学習面でご心配なことがございましたら、遠慮なく担任までご相談ください。
- ・けつぐれ学習はハードルが高すぎる。できれば最高だけ、できない子には家庭学習自体が嫌にならなうと思います。  
子どもたちの発達の段階に応じて、家庭学習の取り組み方について指導支援を行っているところで、学校としては、高学年になる5年生以降「けつぐれ」を自分で進められることを目標としています。ただ、お子さんの美観も考慮・対応してまいりますので、何かお困りのこと等あれば、担任までご連絡ください。
- ・以前、転校前にお世話になった先生が、家庭学習のノートを2冊使っていました。交互に使うと、その日のうちに目を通して返すという慌ただしさはなくなるので、先生が落ち着いて見ることができるといった利点があります。ただ、その先生は放課後の時間をかきとれに費やしていたようですが、どちらにも長所、短所はあるようですが、一つのアイデアかな、と書かせていただきました。  
貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。
- ・子供達自分の良い所を知り、伸ばせるような時間(授業)があるといいと思います  
道徳やピア・サポート、総合的な学習の時間の探究学習等、子どもの個性を伸ばせる授業を進めているところです。今後も一層、指導の工夫・改善をしていきます。
- ・科目が増えて、授業時間が足りないかもしれないませんが、広く深くでなく、英語学習など、一つに特化して学習を進め、強みを作るようにすると、6年間で実感できる成果があると思えます。  
英単語の豆トピックをつやつやして行くとか、毎日新しい単語を出していくなど。  
本校は、授業時数特別校制度を活用し、国語科と算数科における学習内容の確かな定着を重点に指導を重ねているところです。今後も子どもたちの成長が実感できるように、授業改善・工夫に努めてまいります。

・課外活動や職業体験等、体験型の活動があると嬉しいです。  
多種多様な出前授業・見学旅行・自主研修・テイクアウト等、多くの体験型の活動を進めているところですが、今後も充実させていけるよう努めたいと思います。

・出前授業の際に喜んでいたので、そういった外部の方から学ぶ時間を増やせたら増やしてほしい。  
学校としても、専門性の高い講師の方々から子どもたちが直接教わることでできる出前授業を貴重な機会と捉えています。地域人材・企業等の協力を得ながら今後も様々な分野の学びを充実させてまいります。

### <ご家庭との連携、情報発信に関わって>

- ・いつもお世話になっておいてありがとうございます！  
熱中症の対策(水分補給の水筒持参)や、呼びかける時期はもう少し早方がいいかなと思いました！  
6/9、6/10の急に特別暑くなった日の5時間目の外の体育はご心配でした！(まだ体が暑さに慣れていない頃か危ないと感じます)。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします！  
今後とも早い段階でご家庭にお知らせするよう努めて参ります。お子さんの健康・安全は最優先すべきことですので、ご心配の場合はいつでもお子さんに水筒を持たせてください。
- ・今、紙でプリント配布するところがかなり少なくなってきています。保健だよりもプリントでのほうがいいでしょうか？  
保健便りは、内容によっては『子どもたち自身』が手にとって読んでほしいという思いから紙での発行を行ってまいりました。今後、内容に応じてtetoruでの発信も考えてまいります。
- ・大事なお知らせはtetoruでも教えていただきたいと思います！  
日頃よりtetoruでの欠席等の連絡・学校からの情報発信にご理解ご協力をいただきありがとうございます。運動会・学習発表会や参観日など、場合によっては保護者の方々がお仕事のお休みを取られるような行事の案内等につきましては、子どもたちへの文書配付と共にtetoruでの配信を併用させていただきます。
- ・お迎えの時間などもあるため、短縮授業じゃない曜日に短縮授業になった場合は知らせていただきたいです。どちらの学年の時間割には記載ありません。  
ご迷惑をおかけし申し訳ありません。やむを得ず日課の変更を行った場合にはtetoruを活用するなどして保護者の皆様へ周知するよう努めてまいります。

## <学校行事、PTAに関わって>

・親子レク - 子どもが学校でどのように過ごしているかなど知る良い機会ですので、ねらいなども伝えて、保護者の意識を高める良い機会にするといりたいと思います。

学年レクは、学校としても保護者の皆様の横のつながりを高める貴重な機会だと押さえています。ねらいなどについて、改めてPTAからお知らせしてまいります。

参観日 - 授業中の保護者のおしゃべりや見や見位置など簡単なルールを明確に周知してほしいです。

授業参観は、子どもたちの日頃の学習の様子を地域・保護者の皆様に観ていただく機会です。子どもたちの学びに支障がない程度でしたら、観る位置は前からでも後ろからでも特にルールはございません。私語に関しましては、これまで同様マナーを守った参観へのご協力をぜひお願いいたします。

・毎年行われる内科健診で、朝から肌着を着たらダメなのはどうなんだろう？恥ずかしいからと着てきくと、トイレで脱がされる。と毎回聞きます。女子はハーフトップは可ど記憶しておりますが、ハーフトップだけで恥ずかしいし、男の子でも肌着を着ないのは恥ずかしいという子もいますよね。今すぐ改善していただきたいです。肌着を着ずにTシャツ一枚でやめていただきたいです。

ご心配をおかけし申し訳ありません。今回のご意見を受け、改めて学校医に問い合わせたところ、聴診器によるスムーズな診察を妨げない状態であれば、中に肌着を着ても差し支えないとの回答をいただきました。来年度以降は、そのような対応を進めてまいります。

・運動会、5、6年生のルールも楽しいですが、3、4年生のぜひ見たいです。

一昨年度より中学年の実施種目を、5色綱引きと決めて実施し始めたところですが、次年度も、継続の方で考えています。子どもたちなりの作戦やチームワークを生かしたこの競技をお楽しみいただければと思います。学年レクなどの機会に、全員リレーを経験できるように工夫・検討してまいります。

・危機感に対する事をみんなでも考える。

例えば、熊の問題やメガソーラーで木が伐採される事によって何が起きているかなどを考えて、どういった取り組みが大切かみなで話しあって、未来につながる事を話しあえたらいいなと思います。

発達段階に応じて社会科や総合的な学習の時間を通して今起きている社会問題について知り自分の考えを持つような学習機会を設けていますが、PTAや地域の方々とそういったお話をする機会はつくりたいのが現状です。今後、子どもたちを囲む大人が身近な問題に興味関心を持ち、協力していくことが大切だと考えます。貴重なご意見ありがとうございます。

・どんな事も子ども主体で、発表会や運動会の役決めや内容など、先生からの提案や、例年通り、だけなくどんなことをどんな風にやりたいのか、など子どもたちからの声を聞いたり、その時の子どもたちの姿から興味関心があるものを引き出していただけたいと思います。

子どもたちが主体性を持ち、自分たちで議論し物事を決めていく力は、今の教育に求められている大切な資質・能力の一つです。今後も、教えるべきことは教えつつ、子どもにも考えさせること、子どもに委ねることの幅を広げていけるように努めてまいります。

## <児童の安全に関わって>

・以前から気になっていたことを一点お伝えさせて頂きます。

子供達の安全教育についてですが、放課後の児童預かりをせめて1年生の間だけでも小学校内で預かっていただくのは難しいのでしょうか？

学校の事情があるのだとは思いますが、これだけ急ぎ近辺でも不審者情報が出ていますので、何かあってからでは遅いと思います。今後入学してくる子供達の為にも改善策を検討して頂けるとありがたいです。

岩見沢市内には何校か、校内に児童預かりの場を設けている学校がありますが、規定により①預かる児童1人あたり1.65 mの預かり専用で当てられるスペースが必要であること②「昼間は教室・夕方から児童クラブ」というような用途の兼用が不可であること等から充分な数の空き教室が確保できる学校に限られるようです。

ご心配はごもっともかと思いますが、本校の環境では実現が難しい状況とのことですので、今後、子どもたちに対する防犯教育を充実させると共に、地域の方々と連携して子どもたちの安全を守ってまいります。ご理解の程よろしくお願いたします。

・いつも子供達のためにご尽力いただきありがとうございます。

一つだけ気になるのですが、子供達の登下校に重なる時間に学校敷地内を走る車が、かなりスピードが出ていのように感じ、見ていて子どもを守る事が何度かありました。

車の陰から子供が飛び出すこともありますが、子供達を守る運転をしていただきたいと思いました。

本校駐車場の構造上、子どもたちの児童玄関前の動線を、学校職員の車や保護者の方々の送迎のお車が横切ることが度々ある状況となっております。

お寄せいただいた声を生かし、今後、駐車場入口に速度制限を伝える標識を設置することを検討しています。今後も事故のないよう安全な走行を徹底すると共に、子どもたちの安全を第一に考えてまいります。



アンケートへのご協力・貴重なご意見 誠にありがとうございました

